

(7) その他業種の参加状況について

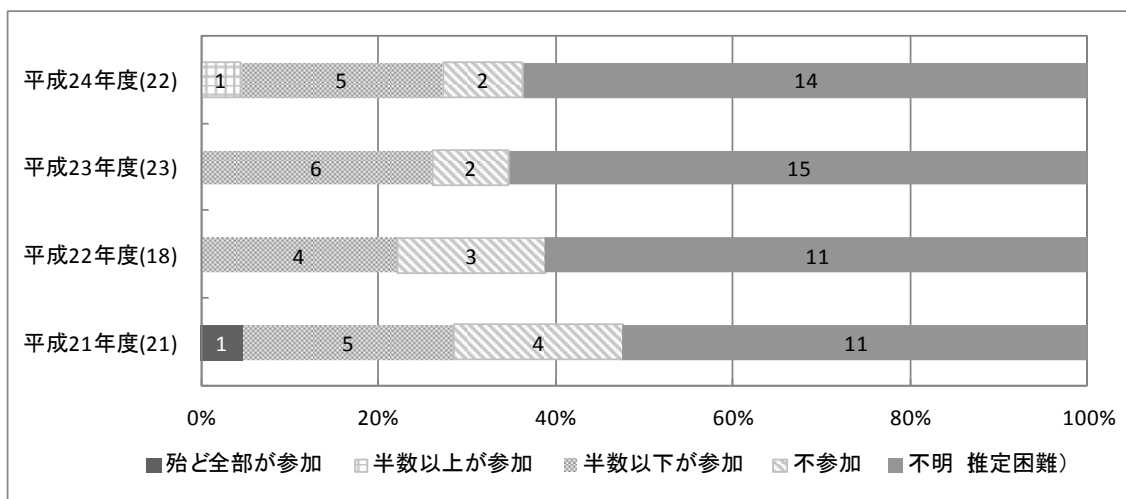
■今年度の特徴

「半数以下が参加」が2割強となっている。

■トレンド

大きな変化は見られない。

その他業種の参加店舗の状況について（政令市・中核市・特別区）



※当設問に対し回答のあった22件を対象に集計（平成24年度）

- 「半数以上が参加」が1件（5%）、「半数以下が参加」が5件（23%）、「不参加」が2件（9%）となっている。
- その他の業種の内容としては、スポーツ用品店、ディスカウントストア、クリーニング店、茶屋、魚屋、布屋、薬店・薬局、酒店・酒販業、ホームセンター、菓子店、市役所売店、市役所喫茶店、農産物直売所、文具店、商店会連合会、健康食品販売が挙げられている。
- また、具体的な参加店舗数について「0」以外の回答のあった20件において、最大値は907店、最小値は1店、平均値は71.9店であった。
- なお、上記グラフと数値については複数の業種が含まれていること（単業種の集計ではない）、参加店舗数においては複数の業種の店舗数を纏めてその他に記載している自治体があることから、参考程度とされたい。